

2019年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

特定非営利活動法人西中国山地自然史研究会

1 事業の成果

西中国山地自然史研究会は、環境保全・里山文化の継承・生物の多様性などの観点から西中国山地の豊かな自然環境を保全し、地域社会に貢献することを目的に活動をしている。

教育事業では、長年続けている自然観察会や県内の小学生向けのせどやま教室を継続実施した。調査・研究事業では、雲月山のチョウ類や芸北エリアでのクマタカの調査を継続した。保全活動では、千町原の草原保全活動において、保全のための保全ではなく、活用を見いだす手立て芸北茅プロジェクトでのコーディネーター的役割を果たすことができた。高原の自然館運営事業では、約20年間継続している生き物伝言板から、地域のフェノロジーデータをまとめるサポートを担った。地域づくり支援事業では、現在不安の大きい新型コロナウイルスについて、インターネット配信という方法で、活動の拠点としている芸北地域での「備え」を呼びかけ考える機会を設け、セーフティネットや人とのつながりをみなおすことで、安心できる社会につなげたいというメッセージを届けた。運営面では、これまでの実績を評価いただき、第13回「みどりの式典」(内閣府主催/憲政記念館)において2019年4月26日に開催された式典の中で、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を授賞した。

これらの事業を通じて、西中国山地の自然の重要性について、広く啓発をはかるとともに、科学的な見地から専門家の意見をや調査研究データを収集し、地域にとって有用な環境保全策を立案し、実行することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
教育事業	自然史科学の普及に寄与するため、観察会・講習会・サイエンスカフェなど必要な活動を行なった。	年45回	広島県内	100人	学校・一般市民等 980人	1,003,695
調査・研究事業	自然史科学の普及に寄与するため、研究・調査を企画し、必要な事業を行なった。	通年	北広島町内	20人	不特定多数	131,208
保全活動事業	地域住民・ボランティアと協働で里山や草原などの生態系、および野鳥、魚類などの希少種保全活動を行った。また、森林整備、里山保全を目的としたせどやま事業の運営協力を行った。	年13回／ 通年	北広島町内	20人／3人	一般市民等 200人／不特定多数	5,714,865
情報発信事業	西中国山地の自然や活動の情報をインターネットや研修会などで発信した。	通年	広島県内	5人	不特定多数	338,616
高原の自然館事業	高原の自然館の諸活動を支援するために、展示や学習資料の開発、教育普及プログラムの開発など、教育普及活動および必要な研究活動を支援した。	通年	事務所	5人	高原の自然館利用者 6,512人	2,243,720
物品販売事業	自然史科学の普及のために必要な物品を作成した。また、物品や書籍等を販売した。	通年	事務所	2人	不特定多数	0
地域づくり支援事業	空き家の活用など地域づくりを行う団体や活動を支援した。	通年	事務所	1人	不特定多数	45,644